

若者の地方体験交流 募集概要

いばらきまち
茨城県茨城町（人口：32,022人）

体験種目：農林漁業体験
その他



地元の有志により設立した「ひろうら田舎暮らし体験推進協議会」が中心となり、学生の田舎暮らし体験、農漁業体験等の受け入れを行っています。

都市部と農村部の交流、地域の住民の交流と活性化を目的とし、地域の資源である湖「涸沼（ひぬま）※」の恵みを活かした幅広いプログラムをそろえているのが特徴です。

※関東唯一の汽水湖。魚類、鳥類、植物等の豊かな生態系が見られ、ラムサール条約の登録湿地となっています。

（体験内容等）※体験メニューには、最少催行人数があります。

- 農業体験：野菜や果物の収穫体験、保存食作り体験など。
- 漁業体験：イカダ乗り体験、伝統漁業体験・見学など。
- 郷土文化体験：お囃子体験、花巻寿司作り、マイ箸造り、組子細工作りなど。
- 農家民泊：ご飯作り、家庭での交流など。

（受入期間） 通年（詳細につきましては、お問合せください。）

（最寄りの交通機関・所要時間）

公共交通機関：水戸駅下車 タクシー利用 水戸駅から約 20 分
車：北関東自動車道・東水戸道路 水戸南 IC から約 10 分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 小学生以上の学生等
- 応募締切 通年（詳細につきましては、お問合せください。）
- 費用負担 現地までの交通費：自己負担（滞在中の移動は、御用意いたします。）
農家民泊体験料：1泊2食付 小学生まで 6,000 円、中学生以上 7,000 円
食事代：農家民泊体験料に含みます。※各種体験料は別途
- 宿泊施設 一般家庭での民泊（民泊新法に対応した家庭もございます。）
- 食 事 ①民泊される場合は、受入家庭の家族と一緒に調理していただけます。
②農漁業体験では、採れた野菜や魚を調理して食べることも可能です。
- そ の 他 相部屋（2人から4人程度）での宿泊が基本となります。
※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、体験交流等を行えない場合もありますので、詳細につきましては、お問合せください。

（担当者から一言）

茨城町の地方体験交流は、他地域で実施している農業体験に加え、汽水湖「涸沼」を活かした漁業体験、郷土料理や文化を取り入れた郷土文化体験を用意しております。これまでもゼミや実践教育演習等で、多くの大学生や院生に御利用いただいておりますので、皆様のお越しをお待ちしております。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 ひろうら田舎暮らし体験推進協議会 海老澤 律子（えびさわ りつこ）
TEL：090-9646-9775（直通） E-mail：info@hiroura.jp
URL：http://hiroura.jp/
Facebook：https://www.facebook.com/hirourainakagurashi/



若者の地方体験交流 募集概要

あしかがし
栃木県足利市 (人口 : 142,985 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験
暮らし・イベント体験



(体験内容等)

- ・各種フィールドワーク (映像のまち、アート、里山くらし等)
- ・地域イベントの運営サポート (アートイベント「あしかがアートクロス」、門前マルシェなど)
- ・市内企業でのインターンシップ
- ・本市の移住定住に関する施策マーケティング調査

(受入期間) 令和3年4月26日～令和4年3月25日

(最寄りの交通機関・所要時間) JR両毛線足利駅ナカ (足利市移住定住相談センター)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方。
- 応募締切 令和3年4月26日以降、随時申し込み
- 費用負担 参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いします。
- 宿泊施設 市内の宿泊施設 (ゲストハウス等) をご紹介します。
- 食 事 各自
- そ の 他 動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

(担当者から一言)

東京から東武伊勢崎線で約1時間、都内からのアクセスもよい足利市。まちなかには歴史を感じられる古民家も残り、20～30代のUターン者の飲食店、カフェ、ゲストハウスなども増えています。春には駅から歩いて回れる範囲でアートイベント「あしかがアートクロス」を開催し、日本最古の足利学校門前では門前マルシェを定期的に開催しています。年間60本を超える映画をはじめとした映像制作のロケ地にもなっています。大正から昭和にかけて織物のまちとして栄え、今も中小企業ですが、個性的なモノづくりのまちです。地方に積極的に関わりたい、自分のスキルを活かしたい、そんな若い皆さんのフレッシュなパワーを足利で試してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 足利市移住・定住相談センター「A i d a c c o (あいだっこ)」

TEL : 0284-22-3434 E-mail : karariko.ashikaga@gmail.com

URL : <http://www.kararikoturn.com>



若者の地方体験交流 募集概要

ましこまち
栃木県益子町 (人口: 21,683 人)

体験種目: 暮らし・イベント体験
農林漁業体験

“ましこの暮らし” ご案内します

益子町は、「益子焼」と呼ばれる陶器の産地として国内外でその名を知られ、毎年春と秋に開催される陶器市は多くの観光客で賑わいます。

「益子焼」以外にも益子町にはいたる所に魅力がたくさん！なだらかに広がる田畑に小高い丘、春には水鳥が舞い降り、冬は薄氷に覆われる池、いちご、ぶどう、りんごなど里を彩る四季の恵み…。

初めて訪れる人にも、どこか懐かしさを感じさせる町です。



(体験内容等)

参加者の希望に合わせたオーダーメイド型の町内ツアーです。

例: 町内エリア見学、空き家・空き地バンク登録物件見学、公共施設見学、先輩移住者訪問、農業体験 等

(受入期間) 通年 (毎月第 2 火曜日・陶器市開催期間・年末年始(12/29～1/3)を除く)
実施希望日の 9:00～17:00 の間

(最寄りの交通機関・所要時間)
真岡鐵道 益子駅下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 益子町外在住で、益子町への移住を検討されている方
- 応募締切 実施希望日の 3 週間前までに電話、メール、FAX、郵送等にてお申し込みください。
- 費用負担 無料 (交通費、飲食代、体験費用等は自己負担)
- 宿泊施設 自己負担
- 食 事 自己負担
- そ の 他 ツアー中の移動は原則公用車とします。

(担当者から一言)

観光では知り得ない、益子町の新しい顔を発見できるツアーです。
参加者のご希望に沿った内容で町内をご案内いたします。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名

益子町 移住サポートセンター (道の駅ましこ内) 渡辺 麻美 (わたなべ まみ)

TEL 0285-72-5530 E-mail iju@m-mashiko.com

URL : <http://www.town.mashiko.tochigi.jp/page/page002177.html>



若者の地方体験交流 募集概要

おがのまち
埼玉県小鹿野町 (人口：11,192 人)

体験種目：農林漁業体験
暮らし・イベント体験

「花と歌舞伎と名水のまち おがの」で 農業や伝統文化に触れてみませんか？



① えごま生産者の太田さん



② 小鹿野町長と
地域住民
(ふるさと祭りにて)



② 地元の子ども
による神楽上演
(ふるさと祭りにて)

(体験内容等)

- ① 小鹿野町の集落支援員(元地域おこし協力隊員)が栽培する「えごま」の農作業：作業内容は植えつけ・畑の手入れ・収穫等になります。農業に興味のある方の第一歩としていかがでしょうか。
- ② 「第45回ふるさと祭り(11/3)」の運営サポート：両神地区の郷土芸能、ご当地名産品をフル体験できる1日です。スタッフとして関わりながら、郷土の「今」を感じてみませんか？数千人が来場する一大イベントで、町役場職員や地域住民と一緒に、運営(テント設営や交通整理や検温など)を体験したい方を募集。ご参加者が自由に活用いただける、ブースの設定も検討しています。地方創生に興味がある人のほか、地方の行政サービスに興味がある人も大歓迎。

(受入期間)

- ① 2021年6月～11月の内、原則1泊2日～2泊3日(作業内容は農作業のスケジュールや当日の天候により異なります)
- ② 2021年11月2日(祭り前日)、3日(祭り当日) ※どちらかのみでもOK

(最寄りの交通機関・所要時間)

西武線「西武秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで35分「小鹿野町役場」バス停
秩父鉄道「秩父駅」から町営バスまたは西武観光バスで28分「小鹿野町役場」バス停

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の大学生、社会人
- 応募締切 原則として、希望する日の2週間前まで
- 費用負担 参加費用無料(交通費・宿泊費・食事代は自己負担です ②は昼食の弁当が出ます)
- 宿泊施設 町内宿泊施設(小鹿野町お試し居住も利用できます)

(担当者から一言)

移住者でもある私が、小鹿野町の魅力を味わっていただけたような
アクティビティを2つ、お勧めさせていただきます。
『百聞は一見にしかず』ピンときた方は、ご連絡ください。
皆さんの可能性を少しでも広げるきっかけになったら嬉しいです。



(お問合せ先)

団体名：小鹿野町役場 担当部署：総合政策課 地域おこし協力隊 担当者名：本 奈代子
TEL：0494-75-1238 E-mail：motonayo@town.ogano.lg.jp
URL：<https://www.town.ogano.lg.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

まなづるまち
神奈川県真鶴町（人口：7,103人）

体験種目：暮らし・イベント体験



年間を通じて気候が温暖で、海と山と緑に恵まれた風光明媚な町、真鶴町でお試し暮らしをしてみませんか。

（体験内容等）

お試し暮らし体験施設の名称は「くらしかる真鶴」です。「くらしかる真鶴」は、元々民間の住宅（空家）だったものが町に寄贈されたものであり、現在は公有物件です。真鶴への移住希望者がお試しで住むことができる施設です。期間中にここから通勤してみたり、物件を探したりすることが可能です。また、町が委託した団体による「町歩き」ではいろいろな町民に出会えるため、ただ住むだけでなく、町のコミュニティも垣間見ることができます。

※令和3年4月現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用受付中止中です。

（受入期間） 原則7日間

（最寄りの交通機関・所要時間）

東海道本線 真鶴駅下車 徒歩7分

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 町内への移住を希望・検討している方
- 応募締切 随時 下記 URL より「真鶴町お試し移住体験申込書」を印刷し、必要事項を記載・押印の上、下記担当者まで郵送で申し込んでください。
- 費用負担 4万円（お試し移住体験参加料）
- 宿泊施設 くらしかる真鶴（真鶴町真鶴453-5）
- 食 事 自己負担
- そ の 他 シャンプー、石けん、歯ブラシ、ゴミ袋、寝間着、トイレトーパーなどの消耗品はご自分でご用意いただきます

（担当者から一言）

真鶴町は、神奈川県西部に位置し、面積は7平方キロメートル、都心まで約100キロメートルの場所にあります。相模湾に向かって突出した真鶴半島の形状が、鶴が羽を広げた姿に見えることが「真鶴」の由来です。豊かな自然と美しい眺め、歴史と伝統文化に関心のある方をお待ちしています。

（お問合せ先）

団体名・担当部署・担当者名 神奈川県真鶴町 政策推進課
TEL 0465-68-1131



URL : <http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/soshiki/seisaku/senryakusuishin/1187.html>